



2022年シャインマスカット・クイーンルージュ病害虫防除暦

J A 中野市営農センター
J A 中野市ぶどう部会

散布日	散布時期	散布薬剤(水 100ℓ当り)	収穫前 使用時期	使用 回数	散布量 (ℓ/10a)	対象病害虫 (発生病害虫)	注 意 事 項
	4月上旬 粗皮はぎ後 (発芽前)	特別散布 展着剤 20 mℓ ラビキラー乳剤 500 mℓ	発芽前 (休眠期)	2回	300	ブドウカミキリ (ブドウカシバ)	・ブドウカミキリ多発園地は散布する。 ・発芽後の散布は薬害が発生するので散布時期を厳守する ・訪花昆虫保護のため早朝散布を徹底する。
	4月下旬 (発芽直前)	① アビオン-E (展着剤) 100 mℓ デランフロアブル 500 mℓ	休眠期	1回	手散布 300	晩腐病 黒とう病	黒とう病対策のため、たつぷりと丁寧に散布する。
	5月初頭 特別防除 カガラムシ対策	樹幹塗布(水:アパリン=1:1) 水【20mℓあたり】 アパリン顆粒水溶剤 20 g	幼果期まで ただし収穫30日前	塗布 1回	1樹あたり 20-40 mℓ	コカイガラムシ類 クビアカシバ	主幹分岐部下を30cm以上粗皮を削り塗布する。 薬液目安: 直径20cm以上の樹は40mℓ塗布
	5月上旬 (発芽直後)	② 展着剤 10 mℓ モスピラン顆粒水溶剤 50 g	14日前	3回	300	ツマクワカシバ カガラムシ類	・訪花昆虫保護のため早朝散布を徹底する。 【ツマクワカシバ多発園地 対策】 モスピランに代えてスミチオン水和剤 40 1,000 倍 (21日前、2回)を散布する。
	展葉2-3枚 (5月上中旬)	③ 展着剤 10 mℓ カナメフロアブル 25 mℓ	前日	3回	300	黒とう病	【カガラムシ類 対策】 ダイアジノン水和剤 34 1,000 倍(30日前、2回)を加用する。
	5月下旬 展葉6枚頃	④ 展着剤 10 mℓ トランスフォームフロアブル 50 mℓ オーソサイド水和剤 80 125 g	14日前 30日前	3回 3回	300	黒とう病・べと病 灰色かび病・晩腐病 カガラムシ類	カガラムシ類対策のため、主幹や主枝にもたつぷり散布する。
	6月上旬 展葉9枚頃	⑤ 展着剤 10 mℓ ドーシャスフロアブル 50 mℓ	60日前	3回	300	べと病 黒とう病 晩腐病	【カスミカメ類・カガラムシ類 対策】 コルト顆粒水和剤 3,000 倍(前日、3回)を加用する。
	6月上旬 展葉9枚頃	⑥ 展着剤 10 mℓ ストマイ液剤 20 100 mℓ	満開予定日の 14日前～ 開花始期	1回	300	《無種子化》	・有核巨峰には絶対に飛散しないようにする。 ・散布遅れがないように注意する。
	6月上旬 開花始期	展着剤 10 mℓ フラスター液剤 ※倍率は注意事項欄に記載	新梢展開葉 7～11枚時 (開花始期まで)	1回	150	《着粒増加》 《新梢伸長抑制》	【品種ごとの登録倍率】※詳細はラベルをご確認ください シャインマスカット・2倍体欧州系品種(クイーンルージュ): 1,000～2,000 倍
	6月中旬 開花直前	⑦ 展着剤 10 mℓ パレード15フロアブル 50 mℓ オーソサイド水和剤 80 125 g トクチオン水和剤 125 g	7日前 30日前 45日前	2回 3回 3回	400	晩腐病 べと病	・主幹害虫対策のため、主幹・主枝にもたつぷり散布する。 ・アザミヤカシバ対策のため、花穂(ぶどうの軸)にしっかりと薬液が達するようにたつぷりと散布する。 ・マンゼブ成分を含む農薬は使用回数に注意(年2回まで) (ジマンダイセン・ゾーベックエーベル・ペンコゼブ・リドミルなど)
	前回から 10日以内 (落花直後)	⑧ コテツフロアブル 50 mℓ スイッチ顆粒水和剤 33 g ジマンダイセン水和剤 100 g	60日前 30日前 45日前	2回 2回 2回	400	灰色かび病 褐斑病	【梅雨の長雨・豪雨 対策】 展着剤としてアビオン-E 2,000 倍を使用してもよい。 ただし、落花12日以降から袋かけ前まで(⑨・⑩・⑪)に加用すると、ブルム溶脱の恐れがあるため注意する。
	前回から 10日以内 (落花12日)	⑨ フェニックスフロアブル 25 mℓ アドマイヤー顆粒水和剤 10 g ゾーベックエーベル顆粒水和剤 133 g	14日前 21日前 45日前	2回 2回 2回	400	黒とう病 チャノキアザミヤ (アザミヤカシバ)	【農家在庫 整理】 農家在庫がある場合、トクチオンをスプラサイド水和剤 1,500 倍(14日前、2回)に代えてもよい。
	前回から 10日以内 (落花17～20日)	⑩ ザンプロDMフロアブル 50 mℓ アミスター10フロアブル 100 mℓ ディアナWDG 10 g	30日前 30日前 前日	2回 3回 2回	400	フタデヒメコバエ (クビアカシバ)	【農薬汚れ 対策】 ザンプロDMに代えてレーバスフロアブル 2,000 倍(7日前、3回)を散布する。
	前回から 10日以内 (落花30日)	⑪ ライメイフロアブル 25 mℓ オンリーワンフロアブル 50 mℓ アーデントフロアブル 50 mℓ	14日前 前日 前日	3回 3回 4回	400	晩腐病・べと病 褐斑病・黒とう病 灰色かび病 アザミヤカシバ類	・袋かけが間に合わない園地は散布する。 ・早期に摘粒が完了した園地では袋かけを実施し、今回の防除は飛ばしてもよい。
	7月下旬 (袋掛直後)	⑫ アビオン-E(展着剤) 50 mℓ ムッシュボルドーDF 200 g アパリン顆粒水溶剤 50 g	— 前日	— 3回	400	べと病・さび病 チャノキアザミヤ ブドウカミキリ カガラムシ類 コカイガラムシ類	【ハダニ類 対策】 コロマイト水和剤 2,000 倍(7日前、2回)を加用する 【展着剤 代替・農家在庫 整理】 アビオン-Eに代えてK・Kステッカー 3,000 倍を使用してもよい。K・Kステッカーを使用する場合は最後に調合する。
	8月上旬 (前回から 10日以内)	⑬ ICボルドー66D 2.5 kg テルスター水和剤 100 g	— 14日前	— 1回	400	べと病・さび病 晩腐病 チャノキアザミヤ	ボルドー散布時は隣接園や施設・住宅に飛散しないように注意。 【長雨・ゲリラ豪雨 対策】 展着剤としてアビオン-E 2,000 倍を加用してもよい。
	8月中旬 (前回から 10日以内)	⑭ ICボルドー66D 2.5 kg	—	—	400		【ボルドー剤 代替】 ICボルドー66Dに代えてムッシュボルドーDF 500 倍、 コサイド3000 2,000 倍、4-4式ボルドーを散布してもよい。 ただしムッシュボルドーやコサイドは高温時や降雨後の散布により薬害発生 の恐れがあるため心配な場合はクレフノン 100 倍を加用する。
	8月下旬 (前回から 10日以内)	⑮ ICボルドー66D 2.5 kg	—	—	400	べと病 さび病 晩腐病	【コガネムシ類 対策】 イカズチWDG 1,500 倍(21日前、5回)を加用する。(直前混用) ただし、カハールなど早生品種との混植園では散布時期に注意
	9月上旬 (除袋直前)	特別散布 展着剤 10 mℓ ICボルドー66D 2.5 kg	—	—	400		収穫が遅れる場合は散布する。 【長雨・ゲリラ豪雨 対策】 展着剤としてアビオン-E 2,000 倍を使用してもよい。

安全・安心な農産物生産のために防除・使用規準を厳守しましょう。 * 農薬散布の際は、隣接園・他作物へ飛散しないようにする。

当防除暦の複製・コピーを禁止します